

【認定番号】 R 7 - 2

【事業名】 AI 技術を活用した衛星データの利活用

1 実施事業者名	法人名 株式会社フォーカス 代表取締役社長 寺澤 崇史
2 事業所の所在地	栃木県宇都宮市松が峰 1 丁目 3-16 グラン宇都宮 703
3 事業実施期間	令和 7 年 1 月から令和 8 年 3 月まで
4 寄附金の目標額	15,000 千円
5 寄附の募集期間	令和 7 年 1 月 17 日から令和 8 年 3 月 9 日まで
6 事業の内容	<p>本事業は複数年にわたる計画であり、以下に目的および段階的な導入計画をお示します。本年度は第 1 段階を実施します。</p> <p>1. 【第 1 段階：基礎開発フェーズ】</p> <p>衛星画像解析システムの基礎開発</p> <ul style="list-style-type: none">・建物、車両、人物等の物体認識・道路、農地などの領域認識・上記の精度向上と解析基盤の開発 <p>2. 【第 2 段階：機能拡張フェーズ】（次年度以降を想定）</p> <p>衛星データを用いた防災、農業ソリューション開発</p> <ul style="list-style-type: none">・防災分野：浸水、土砂被害予想・都市計画：公共交通の敷設・延伸による交通予想、経路最適化・農業：食物育成モニタリング・防犯：違法建物（農地等）の検出、不法投棄検出 <p>3. 【第 3 段階：統合完成フェーズ】（次年度以降を想定）</p> <p>衛星データを活用した地域向け情報サービスの事業化</p> <p>【入手データからサービス提供までの処理フロー】</p> <p style="text-align: center;">データ処理フロー</p> <pre>graph LR; A[衛星データ JAXAや TELEUSから 入手、購入] --> B[データの前処理 AIモデルの 処理に向くよう データを加工]; B --> C[AIモデル 有益な特徴を 抽出できるよう モデルを設計]; C --> D[サービス提供 ユーザーインター フェースを設計し 利用やすい仕組 みを構築]</pre> <p>本事業で開発した AI 解析技術は、官民間わず幅広い分野への展開を想定しており、様々な社会課題の解決に貢献します。</p>

【公共分野への展開】

地方自治体や、警察といった行政機関と連携し、衛星データを活用した高度な行政サービスの実現を目指します。

適正な土地利用の推進：

農地と非農地の自動分類、開発許可のない違法建築物の検出、山林や河川敷などにおける不法投棄の早期発見など、パトロールの効率化と景観・環境保全に貢献します。

防災・減災計画の高度化：

豪雨時の浸水想定区域や土砂災害の危険個所を予測・把握し、迅速な避難誘導や救助活動計画の策定を支援します。

スマートシティの推進：

公共交通機関の利用状況や周辺道路の交通量を継続的にモニタリング・分析し、将来的な敷設・延伸計画やダイヤの最適化、効果的な沿線開発計画の立案に資するデータを提供します。

【民間分野への展開】

地域の基幹産業や市民生活に密着したサービスを提供する民間企業に対し、衛星データを活用した新たなビジネスインテリジェンスを提供します。

不動産・建設業界：

都市開発計画の策定において、人流データや土地利用の変化といった客観的データに基づいた需要予測やエリアマーケティングを支援します。

鉄道・交通事業者：

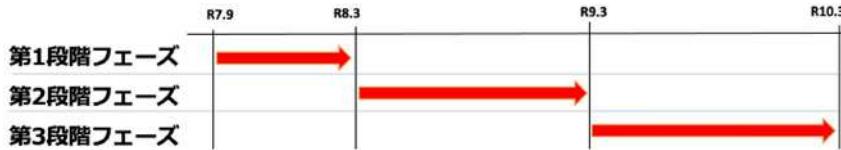
駅周辺や沿線の人流データを分析し、広告事業の最適化や新駅設置の検討、イベント開催時の混雑緩和策などに活用できる情報を提供します。

警備・保険業界：

広域の災害リスク評価や、管理施設の異常（不法侵入、設備変化など）の早期検知を支援し、防災計画の策定や保険料率の算定に貢献します。

7 事業実施による 宇都宮市の宇宙産 業及び経済発展へ の効果	<p>本事業の実施により、宇都宮市の宇宙産業及び地域経済に対し、以下の多岐にわたる効果が期待されます。</p> <p><u>宇宙関連産業の創出と集積:</u></p> <p>衛星データ活用という新たな分野での事業展開は、宇都宮市における宇宙関連産業の裾野を広げ、新たなビジネスチャンスを創出します。これにより、関連企業の誘致や新たなスタートアップの育成を促進し、宇都宮市を宇宙ビジネスの拠点として確立することに貢献します。</p> <p><u>地域経済の活性化と競争力強化:</u></p> <p>衛星データ活用による人流解析、防災、スマート農業などのソリューションは、宇都宮市内の既存産業の効率化と最適化を促進し、競争力強化に繋がります。</p> <p><u>雇用創出と人材育成:</u></p> <p>事業の拡大に伴い、AI技術者、データサイエンティスト、宇宙ビジネスコンサルタントなど、高度な専門知識を持つ人材の雇用を創出する。また、県内大学との連携(インターン受入等)を通じて、次世代を担う宇宙関連人材の育成にも貢献し、地域における知的人材の集積を促進します。</p> <p><u>技術力の向上とイノベーションの促進:</u></p> <p>最先端のAI技術と衛星データ解析技術を組み合わせることで、宇都宮市全体でAIを活用して人手不足の解消を行います。また、官公庁や民間企業との連携を強化し、オープンイノベーションを促進することで、新たな技術やサービスの創出を加速させます。</p> <p><u>新たなデータ利活用ビジネスの創出:</u></p> <p>本事業で整備される衛星データ解析基盤は、地域の不動産、建設、小売、観光といった多様な民間企業にとって、新たなビジネスチャンスの源泉となります。弊社が提供するデータを活用した新サービスの開発が促進され、地域経済に新たな付加価値と活気をもたらします。</p>
--	---

	<p>寄附者様は以下の点をアピールいただけます。</p> <p><u>社会・地域課題解決への具体的貢献:</u></p> <p>衛星データを活用した人流解析、防災対策、スマート農業などは、都市の活性化や食料問題など社会全体の課題に直結する取り組みであると同時に、地域交通や農業振興といった地域特有の課題解決にも役立ちます。寄附者様は支援を通じて、社会全体と地域双方への明確な貢献を実感できます。</p> <p><u>最先端技術と未来志向の事業:</u></p> <p>AI と宇宙という、まさに未来を創造する最先端技術を組み合わせた事業であり、寄附者様は、革新的な技術の発展と、それによる新たな価値創造を支援する企業として、社会的な評価を高めることができます。</p> <p><u>多様な民間セクターへの展開可能性と、オープンイノベーションの核へ:</u></p> <p>本事業は、不動産、建設、交通、警備といった地域の主要産業に対しても新たな価値を提供する、高い将来性を秘めています。企業様は、この未来志向のプラットフォームを支援することで、地域全体の DX を牽引するイノベーションの担い手として、企業のブランドイメージを一層高めることができます。</p> <p><u>明確な事業計画と高い実現可能性:</u></p> <p>弊社の AI 技術とデータ解析の実績、そして県内大学の連携(インターン受入等)により、本事業は高い実現可能性を有しています。具体的な応用分野と期待される効果を明確に示すことで、寄附者様は安心してご支援いただくことができます。</p> <p><u>「実績」に裏打ちされた、信頼性の高いプロジェクト:</u></p> <p>弊社は、AI 画像検品装置の開発で培った高度な画像認識技術と、栃木県庁と共に「とちぎビジネス AI センター」を立ち上げた官民連携事業の実績を有しています。この確かな技術力と経験に基づき寄付をいただく企業様のご期待に応えるプロジェクトを責任を持って遂行します。企業様のご支援は、宇都宮市の未来を創る、最も確実でインパクトの大きい一手となります。</p> <p><u>宇都宮市の宇宙ビジネス推進への貢献:</u></p> <p>宇都宮市が重点的に推進する宇宙ビジネスの発展に直接貢献する事業です。寄附者様は、宇都宮市の未来を共に創るパートナーとして、その名を刻むことができます。</p>
8 寄附募集に当たってのアピールポイント	

9 想定スケジュールと内容	<p>・令和7年9月～令和8年3月 【第1段階：基礎開発フェーズ】 期 間：7ヶ月 予 算：1,500万円 内 容：人流解析システムの基本機能を開発 成果物： - 衛星データ取得・解析の基盤構築 - 基本的なデータ可視化のための入力設計</p> <p>・令和8年4月～ 【第2段階：機能拡張フェーズ】（次年度以降を想定） 期 間：1年 【第3段階：統合完成フェーズ】 内 容：全機能の統合および本格運用の開始</p> 
10 備考	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社フォーカスは、AI技術とデータ解析の専門知識を活かし、宇都宮市の宇宙関連産業の発展に貢献する強い意欲を持っています。特に、AI画像検品装置の開発で培った画像認識技術は、衛星画像の解析において大きな強みとなります。 県内大学との連携(インターン受入等)により、宇宙事業の人材育成を行います。 将来的にはより広範な宇宙ビジネス領域への参入を目指します。 本事業は、宇都宮市が掲げる「うつのみや産業振興ビジョン」における「航空宇宙関連産業」の重点振興に合致しており、宇都宮市の地域創生に貢献します。 弊社は、栃木県庁と共同で「とちぎビジネスAIセンター」を立ち上げた実績があり、官民連携による事業推進のノベーション創出に貢献できる体制を有しています。

宇宙ビジネス認定事業ご紹介資料

1. 株式会社フォーカスについて
2. 宇宙ビジネス認定事業のご紹介



1. 株式会社フォーカスについて



株式会社フォーカス



1

会社概要

会社名	株式会社フォーカス
所在地	栃木県宇都宮市松が峰1丁目3-16グラン宇都宮703
設立	2019年2月5日
代表者	寺澤 崇史
役職員数	17名
事業内容	AI画像検査/DX/生産設備の導入・メンテナンス/他
資本金	67,400,000円(資本準備金 同額を計上)
主な得意先	栃木県警察本部/ 栃木県庁/宇都宮市役所/日産自動車/旭化成 オリジン/ミツトヨ/アイカテック建材/東京鐵鋼/その他100社以上

役員紹介

代表取締役 寺澤 崇史

2019年2月 株式会社フォーカス 設立
代表取締役就任（現）

研磨材料・工具を扱う商社にて、自動車・航空・半導体・医療機器業界を中心に新規開拓を担当。責任者として仕入先・販売先をゼロから構築し、事業の柱として育成。その中で、多数の生産ラインの省人化・効率化を手掛け、現場改善に貢献。後にフォーカスを創業し、省人化の知見を活かしてAI/DX事業と機械・工具事業を展開。

企業理念は「未来の構築」

最新のAI/DX技術を基にした高品質なサービスを通じて、顧客の成果の構築に貢献し、持続的な繁栄に寄与することを目的に活動。

取締役 長谷川 祥

営業部門管掌

工作機械販売等を手掛ける商社でトップセールスとして活躍した後、栃木県で機械商社を創業。自動車・航空・半導体等の大手企業やサプライヤーを中心に、広くパイプを持つ。

取締役 菅山 慶吾

経営管理部門管掌

一橋大学卒業後、大手製造業で生産管理を担当。その後、農業系IoTベンチャーでは管理部門、生産・購買部門管掌取締役として、経営企画・ファイナンス・内部体制構築等に従事。

監査役 神足 勝彦

公認会計士

慶應大学卒業後、大手監査法人で、主に製造業・損害保険業の企業に対する監査に従事。その後、大手エンターテインメント企業の持株会社・事業会社の常勤監査役を歴任。

監査役 渕上 誠

公認会計士

一橋大学卒業後、大手監査法人で、金商法・会社法監査に加え、スタートアップ支援・IPO企業支援・内部監査支援等に従事。その後、公認会計士事務所を設立し代表を務める。

3

事業内容

スマートファクトリー構築のトップパートナー



4

提供サービスのカテゴリー

AI・コンサル



AIを用いて、人手不足の解消のためのソリューションやスタッフ研修を提供

商品・工事

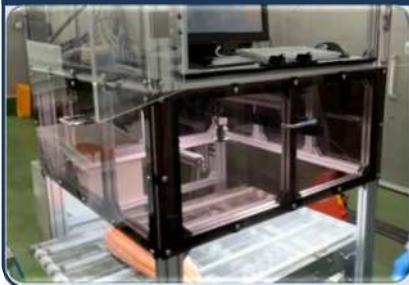


設備や治工具の導入・設置からメンテナンス業務にも対応

5

沿革

AI外観検査システム販売開始



顧客ニーズに合わせて
オーダーメイド開発

AI生産管理システム販売開始



DX推進のための
基幹システムを提供

フォーカス創業
FOCUS
Co., Ltd.

宇都宮ベンチャーズ入居

2019 2020/08 2020

とちぎビジネス
AIセンター開所
展示・教育を担当
250名以上参加

2021/06

宇都宮市職員向け
ITC研修の実施
4日間で8講座を開催
60名以上参加

2021/11 2023/01

国立大学の講師
AI講座の講師を担当
受講者3,600名

2025/01

栃木県警察主催講座
サイバーセキュリティ講師
医療事業関係者
約80名参加

オフィス増床

2025/02 2025/08

2024

本社移転

6

とちぎビジネスAIセンター



多目的ホール行われた分科会セミナーには100名近く参加いただきました

2021年、栃木県産業技術センター内に
「とちぎビジネスAIセンター」が開所しました。

弊社はAIソリューション展示及び教育を担当。
県内企業の皆様がAIについての理解を深め、
有効に活用できるように尽力しております。

なお、AIセンターのセレモニーにおいては、
弊社代表の寺澤が、約100名の聴衆の前で
AI導入事例の紹介をさせていただきました。



弊社メンバーの活動として、以下の内容についても取り組みを行っています。

- ・東京大学松尾・岩澤研究室
大規模言語モデル開発プロジェクトへの参画
2024年スクラッチ開発 サブリーダー
2025年ファインチューニング サブリーダー
- ・G検定 / E資格の取得に向けた支援活動
- ・ハッカソンへの参加

※写真はLLM開発のプロジェクトメンバー
中央が松尾教授、左から2番目が弊社メンバー

8 AI / サイバーセキュリティ実績

■主な実績

- ・企業に対してのセキュリティコンサルティングを実施
- ・政府関連のサイバー部隊に弊社スタッフが所属
- ・NATO主催の多国籍サイバー演習Locked Shields 2025に参画
- ・シンガポール政府AI安全性プロジェクト参画

■主な研修実績

- ・栃木県警主催医療事業者向けサイバーセキュリティ講座講師(2025年8月)
医療事業関係者80名
- ・国立大学の講師(2025年3月~)
日本で最も受講者数の多いAI講座の講師を務める。受講者3,600名以上
- ・とちぎビジネスAIセンターのファシリテーター (2021年8月~11月)
県内の製造業企業、サービス業企業の10社 33名が参加。

2. 宇宙ビジネス認定事業のご紹介



株式会社フォーカス



①サービス概要

【概要】

- これまで情報取得が難しく人手による調査などに頼っていた作業(違法建築、不法投棄)を衛星データとAI分析で可視化。広域監視の非効率性を課題とする公共サービスの担い手である自治体やインフラ事業者の事後対応を減らし、省力化を実現する。
- これまで統計データ等に頼っていた需要予測(交通、天候、来客)分野に衛星データとAI分析のデータ活用によってより精度の高い予測を可能にし、既存データの予測精度の限界を課題とする民間企業等の経営判断の精度向上により投資判断における不確実性を解決する。

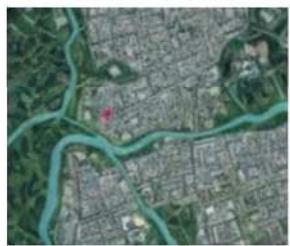
【弊社の強み】

- 製造業のAI画像検品で培ったAI判定技術
- 栃木県を中心とした数多くの企業への導入経験による課題の把握能力

②サービスの全体像



衛星画像



統計情報



台帳情報



時系列情報

サービス提供イメージ



衛星画像データと各種オープンデータ(交通など)の取得

弊社の強みとするAIによる分析により価値ある情報として出力
(物体認識、領域認識、需要予測)

サービス提供先
(行政機関、事業者)



渋滞予測



違法建築



不法投棄

課題を抱える企業へ
ソフトウェアとして提供

③入手データからサービス提供までの処理フロー

衛星画像



AI学習



学習済みAIモデルの活用



インターフェイス



[衛星データ]

JAXAやTELUSから衛星データの入手(購入等)

[データの入力]

AIモデルで処理できるようデータを加工、経営判断に役立つ情報を出力できるよう入力を設計

- ・画像前処理
- ・物体認識、領域認識
- ・クラス分け、AIモデル作成
- ・統計情報読み込み

[AIモデル]

目的に合わせた有益な特徴を抽出できるAIモデルを提供

[サービス提供]

利用者の課題を解決・分析できるようインターフェイスを設計

想定される顧客

- 鉄道・交通事業者
- 不動産・建設事業者
- 行政機関 等

④サービス具体例(最終的な活用イメージ)

(1)【物体認識】AIにより道路における車両数のカウントを行うことで渋滞を定量化



衛星画像

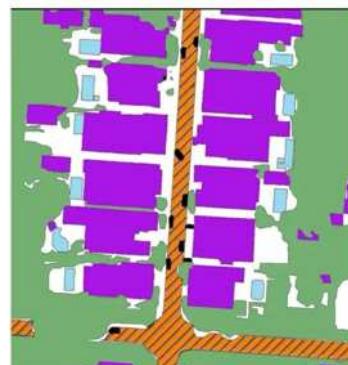


AIによる物体認識

(2)【領域認識】AIにより道路と住宅領域を分類することで道路の『輸送量』を数値化



衛星画像



AIによる領域認識



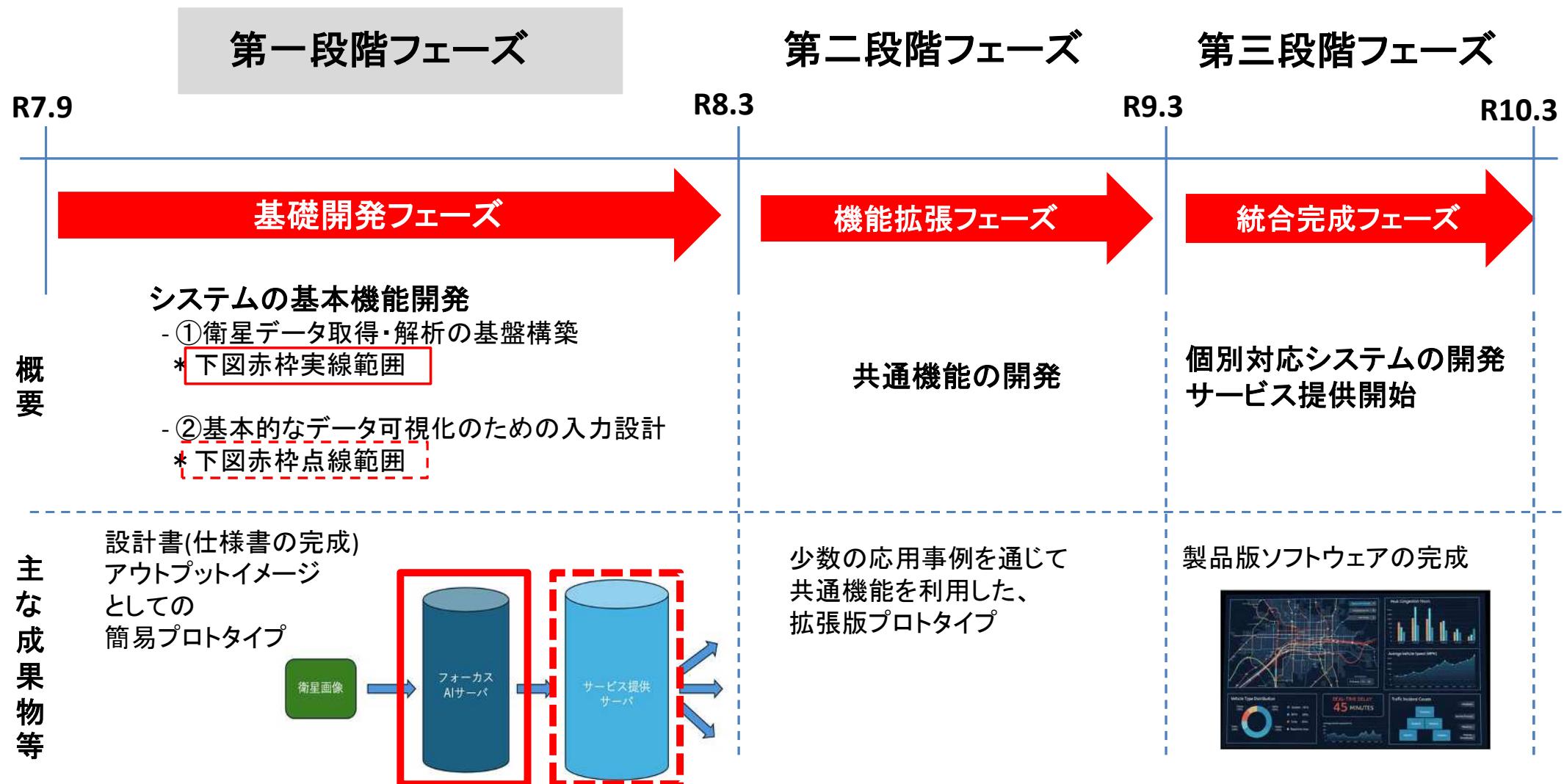
【インターフェイス】



課題分析に役立つ
オープンデータや台帳情報
を付与し
AI予測モデルにて出力

事例:「物流最適化のための交通分析」
⇒物流や配送の最適化など、
物流事業者の課題解決につなげる

⑤サービス提供までのロードマップ



弊社が宇宙ビジネスに取り組む理由

1)急成長する宇宙ビジネス市場への挑戦

世界の宇宙市場は2030年までに185兆円規模に成長。

弊社はAIをはじめとする成長分野への挑戦を続け、宇宙ビジネスにも積極的に参入。

2)宇宙×AI×セキュリティの独自技術力

製造業で培ったAI画像解析技術とサイバーセキュリティの知見を融合し、宇宙分野での応用を推進していく。

3)宇宙産業が盛んな栃木の地域特性を活用

栃木県は宇宙関連産業が盛んであり、また大学での宇宙開発研究も進んでいる。宇都宮市や栃木県も宇宙ビジネスを大きく支援している中、地元企業や大学、行政との産学官連携による宇宙ビジネス拠点の形成がされつつある。

上記の強みをもとに、弊社としては衛星データを利活用することで情報サービスの新領域を開拓し、地域経済を牽引する新産業を創造する。弊社の技術力を活かし、行政、産業、国民生活の高度化や効率化につながる新たなサービスを提供を行う。

ご覧いただき
ありがとうございました。

